



? 包装資材ってどんなものなの?

食品や工業製品などを包んで保護する物流になくてはならない資材です。

包装資材は、大切な商品を傷つけず、使う人に届けるために必要不可欠なものです。大石産業は約100年にわたって「包む」モノづくりをしてきた会社。それぞれの商品に合った形や素材の包装資材を開発し、生産現場と消費者をつなぐ役目を担ってきました。現在はパルプモールド、段ボール、フィルム、重包装袋の4事業を取り扱う日本唯一の総合包装資材メーカーとして物流を支えています。

大石産業株式会社

? どんなところで使われているの?

お店や家の中など、身近なところで幅広く活用されています。

- 小麦粉用紙袋 (重包装袋)**
パンの材料となる小麦粉に使用されています。
- カップ麺の容器 (フィルム)**
表面に薄いフィルムを貼り、デザイン性と強度を高めています。
- 食品容器のふた (フィルム)**
ふたの裏側に接着性フィルムを貼り、容器を開けやすくします。
- 食品トレー (フィルム)**
フィルムにきれいな柄を印刷し、トレーの表面に貼っています。
- 卵の容器「パルピー」 (パルプモールド)**
卵が割れないように、しっかり保護します。
- メロントレー+段ボール (パルプモールド・段ボール)**
セットで使用することでメロンを傷や痛みから守ります。
- トマトのトレー (パルプモールド・段ボール)**
果物や野菜の形にぴったりの容器が利用されています。
- ゆりかご**
新発想の吊り包装で、柔らかい独自のフィルムを使用したいちご容器。贈答用や輸出に人気です。

スーパーマーケットには、大石産業の製品がいっぱい!

? パルプモールドってなあに?

大石産業のパルプモールド製品(食品用)。紙素材ならではの通気性と吸湿性があり、食品の鮮度も守っています。

新聞や段ボールなどの古紙を利用したリサイクル製品です。

製品ができるまで

原料投入 → 原料離解 → 原質調整 (異物除去・濃度調整) → 成型 → 乾燥 → 品質検査 → パレタイズ → 出荷

古紙に水を混ぜて繊維をほぐし、液状にしたものを金型に入れて形を作ります。乾燥させた製品を検査し、梱包してお客さまに届けます。

? パルプモールドはなぜ環境にやさしいの?

紙は主に木材からできた自然素材です。パルプモールド製品は、日常生活の中にあふれる使用済みの紙を再利用して作っています。さらに使用後の製品は、再び原料として活用されます。

自然に還る紙素材で、資源として何度も利用できます。

100%新聞古紙を原料とした「花菜ポット」。そのまま植えられ、容器は3~4か月で自然分解されて土に還ります。

働く人の声を聞いてみよう! Q&A

Q. どんな仕事をしていますか?
パルプモールド事業部で、製品の改良や新しい技術の開発をしています。実際に使う人や作る人の気持ちを考えて、より良い製品ができるように取り組んでいます。

Q. 仕事でうれしかったことは?
自分が開発したものが製品になったことです。プラスチックのトレーを、エコな紙製に変えました。難しかった耐久性もクリアでき、実用化されてうれしかったです。

Q. 今後の目標を教えてください。
現在、新しい技術を使った製品開発に挑戦中です。パルプモールドをフィルム加工したバリア性の高い包装資材を完成させ、たくさんの人に使っていただきたいです。

開発部
木下 悠さん

Q. 入社した理由を教えてください。
人の役に立つ仕事がしたいという希望があり、製品に魅力を感じて入社しました。包装資材は目立つものではありませんが、誰もが利用していて、縁の下の力持ちみたいでかっこいいなと思いました。

Q. やりがいを感じたことは?
入社1年目で色彩検定の資格を取り、製品のリーフレットや展示用のパネルデザインを任せてもらったことです。

Q. 仕事で難しいと思うことは?
原料の紙には多くの種類があり、色や固さなどそれぞれ違います。パルプモールド製品は生き物だといわれ、気温や湿度にも応じて作り方を調整するのが難しいですね。

開発部
勝永 早織さん